

昨年に続き、東北本部と連携して道外でも実施しました

「技術士を知ろう！ in 秋田高専」

1. はじめに

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)にて運営等を担当している「技術士を知ろう！」。平成30年度の活動第7弾として、昨年に続き、秋田工業高等専門学校環境都市工学科の4年生を対象に実施しました。この道外進出企画の実現は、昨年の秋田高専側からオファーをいただいて実現したのですが、今回も北海道本部の青年技術士交流委員会(青技交)に加え、東北本部青技交の連携・協力を得て実施しています。



写真-1 冒頭の概説を行う小澤代表

2. 実施概要

開催日時：H30.12.10(月)14:30～17:00

講義内容：技術士資格の説明、制度概要等

技術士の仕事内容と役割(講演2編)

土木・建築業界全般の仕事紹介

座談会「技術士と話そう！」

対象者：秋田工業高等専門学校 環境都市工学科
4年生34名、3年生4名

参加幹事：小澤、仁田、木本(記)(ミライ研3名)、
齋藤、五十嵐(東北-青技交2名)

3. 技術士資格の説明、制度概要等

小澤代表より、技術士資格の説明として技術士の役割、資格取得方法、持つことのメリット等を説明したほか、社会人になって仕事をする上での資格取得の重要性等を説明しました。

自身の資格取得歴や会社での処遇等も交えた説明で、就職活動を目前に控えた4年生にとって、自分の進路等を考えるいい機会になったようです。

4. 技術士の仕事内容と役割

(1) 技術士の仕事(東北本部より)

具体的な仕事内容の紹介は、東北本部の青年技術士交流委員会に所属する、齋藤技術士((株)サトー技建)、五十嵐技術士((株)ユアテック)から行いました。

齋藤技術士からは、農業系コンサルタントの仕事として、土木の中でも農業部門に関する仕事紹介を行い、農地の区画整理事業、かんがい排水事業等の事例を紹介しました。その中で、最近取り組んでいるMMS(モバイルマッピングシステム)やUAV等の新技術も紹介し、現場の特性等を踏まえた仕事の面白さを伝えました。

五十嵐技術士からは、再生可能エネルギーでの技術士業務の紹介として、太陽光や風力発電に係る設備建設の実例を紹介し、様々な課題がある中で「技術士だから考えたこと」等を紹介しました。

いずれも東北で活躍する技術士で、かつ農業や新エネルギーといった身近な話題だったからか、学生は熱心に聞いてくれていたように思います。

(2) 土木の仕事全般の紹介

講演最後は、筆者より土木や建築の業界全般を対象に 2 人の講演で紹介しきれなかった様々な仕事を写真で紹介。東北地方や秋田県内の事例等を用いて様々な仕事があることを知ってもらい、学生たちが自分の将来を考える機会になれば、と考えて用意したのですが、まだ漠然としてしか自分たちの「ミライ」を意識できていない学生にとって、今後の進路を真剣に考える機会にしていただけたようです。

5. 質疑応答

他校での実施と同様、質疑応答は各プレゼン終了後に学生の皆さんから各プレゼンターに対しての質問を記入していただき、その中から何問かを抽出して回答する形で実施しています。

仁田技術士の進行で実施した今回は、学生たちが直面している就職活動に直結するような質問や、「仕事をする上での心構えは？」等の質問も寄せられました。北海道・東北それぞれの参加幹事から丁寧に回答し、何より自分たちが楽しんでいるという空気や業界の魅力、楽しさが学生たちにも伝わったのでは、と思っています。

6. 座談会「技術士と話そう！」

講演終了後は約 60 分間の時間を取り、より詳しく質疑等を行える座談会「技術士と話そう！」を実施しました。筆者の進行で、参加幹事メンバーが就職時や仕事する上で考えていること等をテーマに、グループ別の懇話形式での開催としました。

講演とは異なる懇話形式としたことで、参加幹事と学生さんとの距離が近くなり、より深く、詳しい話ができ点が、学生さんにもよかったようです。

7. まとめ

学生からの感想には「今日の講演を聞いて、技術士を取る事にとても興味を持ちました。」「名前しか聞いたことがなかったが、今回の講演で技術士のメリット、内容が良くわかった。」等の技術士取得の動機となるようなキーワードが多くありました。また「来年技術士補を取りたいと思いました。」と、早く

も 1 歩踏み出してくれそうな感想もいただき、技術士制度や資格の重要性について理解を深めていただけたのでは、と考えています。

アンケートでは、有効回答数 38 人中 37 人が技術士を「名前だけは知っていた」「以前から名前も内容も知っていた」状況で、38 人中 31 人が「将来技術士を取得したい」と回答してくれていました。

また、同アンケートでの今回講演の「わかりやすさ」「満足度」は 5 段階評価で 4.3、4.4 と学生に高評価をいただき、昨年に引き続き道外進出の試みも無事に終わることができたと考えています。

なお、秋田高専での「技術士を知ろう！」は来年以降、東北本部の青年技術士交流委員会が開催してくれることになっています。北海道本部で始めた「技術士を知ろう！」の取り組みが、少しずつ全国展開していくことに、またうれしく思う次第です。



写真-2 座談会の様子(仁田技術士)



写真-3 座談会の様子(東北本部：齋藤技術士)
※写真は加工しています。